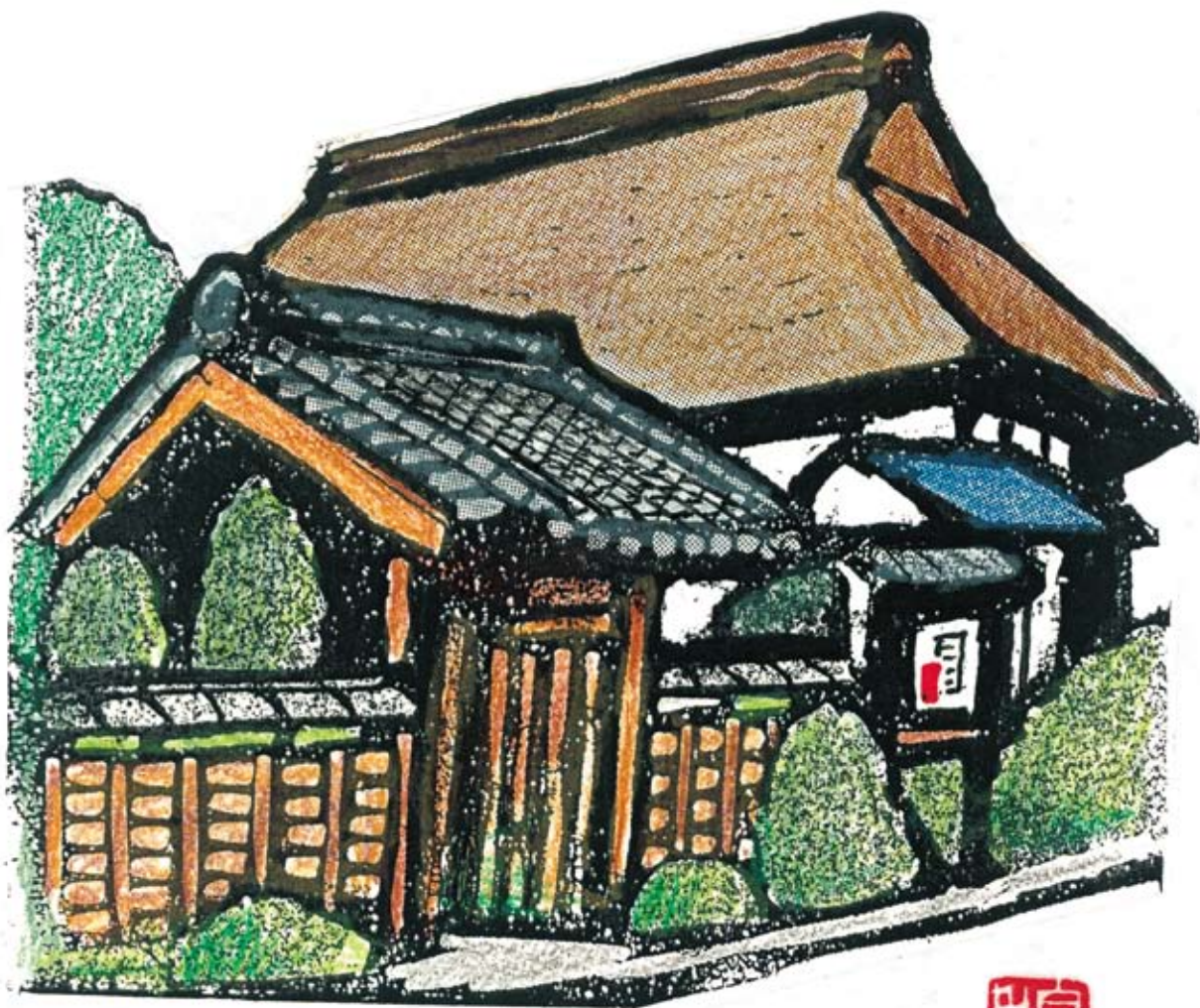


GOVERNOR'S MONTHLY LETTER

ROTARY INTERNATIONAL DISTRICT 2570



版画 田中一郎
保己一旧宅



大事
今を
に

Contents

ガバナーメッセージ	2	表彰	12
職業奉仕月間	3	新入会員の紹介	13
米山月間	5	訃報	14
ガバナー公式訪問報告	7	今月の表紙	14
社会奉仕プロジェクト部門セミナー報告 ..	10	10月・11月のスケジュール・文庫通信	15
インターアクト年次大会報告	11	8月度 出席及び会員数報告	16

国際ロータリー第2570地区
2009-10年度ガバナー
加藤 玄静

ガバナー事務所
〒367-0041 埼玉県本庄市駅南2-2-1 埼玉グランドホテル本庄2F
TEL:0495-22-8035 FAX:0495-22-8036
E-mail: info2009@mail.rid2570.gr.jp

10

2009.10.1

四つのテスト

言行はこれに照らしてから

- 1 真実か どうか
- 2 みんなに公平か
- 3 好意と友情を深めるか
- 4 みんなのためになるか どうか



～今を大事に～

忘れ去られた部門・・・職業奉仕の復活

ガバナー 加藤 玄静

ロータリー会員なら、アメリカ・シカゴで誕生したロータリークラブの経緯は既にご存じの通りであります。社会秩序の荒廃を嘆いたポールハリスはこの風潮に耐えかね、職業倫理の向上に努めてお互いに公正な取引をしながら、人間性でも分かり合い親友関係をも保っていき、ロータリークラブ創設に発展していきました。

ロータリーが誕生して間もなく、アーサー・フレデリック・シェルドンが提唱した「最もよく奉仕する者、最も多く報われる」というモットーはあまりにも有名であります。

又、多くのロータリアンは、毎朝、仕事に従事する前に「四つのテスト」を唱和し、競争相手にも模範を示す習慣を築いて参りました。その後は自分に言い聞かすだけでなく、お客様の目の届く箇所に貼り、より効果を上げていったそうであります。

- ・ 家族がなければ、子どもは正常に育ちにくい
(人は幸福になれない)
- ・ 正業とはまともな職業のこと
(これを持たねば、一人前の社会人としては認められない)

会員として、「社会奉仕」、「国際奉仕」の前に、会員基盤としての職業の品位を保ち、自ら選んだ職業に於いて、最高度の倫理的規範を推進すべきであると教えられておりますが、先人は、ロータリーとは「倫理運動」であるとさえ強調する人がおります。

しかしながら、倫理を語ることも難しいが、実践は尚難しい。

さあ、少しの勇気を持って、第一歩を踏み出しましょう。

(職業奉仕部門セミナーより)

職業奉仕月間



職業奉仕月間によせて

職業奉仕部門委員長 新井 弥男 (所沢 RC)



「職業奉仕とは何だろう。この役職を仰せつかるにあたって色々疑問を持ちながら、自問自答してみました。

私自身入会26年目、以降それなりの経緯を重ねてきた積りですが、恥ずかしい事にあまりこの事に大きな意識を持っていなかったのが本当の所です。

そこで取り敢えず拙い頭を絞り、私なりにその歴史と基本理念を研修してみたその結論が「職業奉仕とは、各ロータリアン自身の寄って立つ会社、店舗を永く継続させる事にある、という思いに達した次第であります。

さて、現実には目を移しますと、2570地区のロータリアンの会員数が毎年減り続け、本年度は1900名を切った訳ですが、その原因として外的には、未曾有の世界的経済不況も否めない事実ですが、一方長らく職業奉仕を軽視してきた事にもその一因があるのではないのでしょうか。

メンバーご承知の通り、職業奉仕の基本理念はアーサー・フレデリック・シェルドンが1910年第一回全米ロータリークラブ連合会で語った「最もよく奉仕するもの、最も多く報われる、にあり、自分の儲けを優先するのではなく、自分の職業を通じて社会に貢献するという意図を持って事業を営めば結果として継続的な事業の発展が得られるという、他の奉仕団体とは大きく異なる独自の思考であります。

しかしながら、いつの間にかロータリー運動から職業奉仕の理念が徐々に希薄になり、人道的奉仕活動一辺倒になるに従ってその意味する所が変わってしまったのではないかと考えられます。

そしてその間、ロータリーの大きな特質であった「一業種一会員」の原則と、「基本的例会義務出席」という二つの大原則が次第に希薄になり、可能な限りそれを緩和して会員増強に突き進んできた事にも起因するのではないかと思います。

だからこそ今、会員基盤としての「正業」を見つめ直し、職業奉仕の重要性を再認識し、更には「ロータリーの例会は人生最高の修練の場である」との米山梅吉翁の言に共鳴して職業奉仕に精を出し、ロータリーの質を高める事が喫緊の課題ではないかと確信しております。

また、幸いな事に本年度は加藤ガバナーのご方針で、部門として職業奉仕委員会と職業倫理委員会に特化され、クラブ支援の一環として職業奉仕の重要性を各クラブに訴求すると主唱されておりますので、この意を体し部門全員で責を全うしたいと存じますのでどうぞ宜しくお願い申し上げます。

職業奉仕月間に当たり

職業奉仕委員長 渡邊 栄一 (行田 RC)



今から104年前、建国129年（明治38年）の世界の新天地米国のシカゴでロータリーが創立されました経緯は皆様ご承知の通りであります。そのロータリークラブはポール・ハリスと3人の同志で創立され、会員間の職業上の相互援助を目的とする親睦団体でありました。しかし会員の企業が成長し隆盛をみればみるほどロータリークラブは利己的活動の根源であると世間の不評を買うようになってしまいました。

その後1908年にはロータリーの哲人といわれ、不滅の足跡を残したアーサー・フレデリック・シェルドンがシカゴクラブに入会してきました。当時のシカゴは『悪徳と腐敗の街』で商業上の



倫理性が欠如し、その上に熾烈な生存競争が展開されていましたが、彼は街中に注目すべき異例があることを発見しました。それは寛容を持って適正公明に経営された商店又は会社の中に、最も成功している処があるという事実でした。

そこで彼はその成功の秘訣が何処にあるかを考究した結果、企業の永続的成功を保証する唯一の信頼すべき方途があつて、よく他人のために尽くすこと、即ちサービスがそれであり、成功は無慈悲な貧乏人や我利の根性に依存するのではなく、サービスの法則が適用されるところから生まれる不可避の

結果で、自然の法則そのもので神の摂理であり科学であるとも確信しました。それが後の『最もよく奉仕する者、最も多く報われる』の思想の生まれた動機であり、鍛錬を重ねた後ロータリーの新たな標語になったのです。こうしてロータリーは正式に「奉仕の理想」を追求する奉仕者の団体になったのです。（ロータリーの理想と友愛—ポール・ハリス著米山梅吉訳より）

その後ロータリーは一世にわたる永年の間に世界的な組織拡大を遂げた反面、グローバルな経営環境のみならず自然環境、人為の環境も大きく変わってきたため、奉仕の理想追求方法にもブレがでたかと思われても仕方が無いほど今日のロータリーの本質を正確に理解することが難しくなってきたと思うのは私だけでしょうか。幸い3年前よりRIにも職業奉仕委員会が復活して、漸くロータリーの原点が脚光を浴びることになりましたが、むしろこの際職奉なくしてロータリーの復権は無いものと思わなければならぬほど、今日の事態は急を告げていると感じています。シカゴの昔に想いをいたし、気が付いた会員から直ぐにも職業奉仕の理念をやさしく素直に理解して実践して頂きたいと思います。

現在多勢の会員の皆様の進めている職業奉仕は、失礼ながら例えればクツの上から痒いところを搔いているようなものと思わざるを得ません。職奉なくして会員メリットはないものとおこがましくも思っています。私ども職業奉仕委員会は警告を含む職業奉仕の実践要請を加藤ガバナーから励まされながら、クラブの皆様に説明したいと想っております。出前も致しますので遠慮なくガバナー事務所までお声を掛けていただければ幸いです。

職業奉仕月間に寄せて

職業倫理委員長 平岡 達也（入間 RC）



今年度、ジョン・ケニーRI会長ならびに加藤ガバナーは「ロータリー独特の職業奉仕への取り組みを強調する」ことを提唱されました。

更に加藤ガバナーは昨今の企業の不祥事に注目し職業倫理委員会を設けました。

今の日本の一部の経営者の中には、金儲けのためなら手段を選ばないというあたかもロータリーのスタートした20世紀初頭の混乱期にもよく似た倫理感の欠如がみられ、職業奉仕理念の再認識が必要かと思われます。

ロータリーは「互恵」と「親睦」から始まりましたが、創立当時の先人たちの努力により職業人の倫理運動へと発展し今日に至っています。

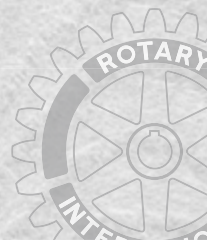
先人たちの中にはシェルドンやハーバート・テラーがいました。アーサー・フレドリック・シェルドンは「最も善く奉仕するもの、最も多く報いられる」というモットーのもと職業奉仕ならびに職業倫理の理念を提唱しました。またハーバート・テラーは「四つのテスト」の産みの親ですが、この簡潔な四つの言葉が職業倫理の真髄を言い当てています。

会員の中には職業奉仕は難しいと拒否反応を示される方もありますが、シェルドンやハーバート・テラーの思想を是非理解していただきたいと思います。

手続き要覧の「職業奉仕」を開いていただきますと、「職業奉仕に関する声明」「ロータリアンの職業宣言」「四つのテスト」が載っています。「四つのテスト」を知らない会員はいないでしょうが、他の二つはあるいは馴染が薄いかも知れません。今年度はこれらの普及にも努めてゆきます。

また先人たちの教訓でもある「社訓」「家訓」も集めて整理し発表する機会も作りたいと考えています。皆様のご協力をよろしくお願い致します。

米 山 月 間



米山月間に寄せて

米山奨学部門委員長 大澤 衛 (和光 RC)



ロータリアンになった学友が100人に！

ハイライトよねやま113号 (09.7) によりますと、ロータリアンになったと報告のあった学友数が100人に達しました。最多人数は台湾で53人。以下、日本・韓国・ネパール・バングラディシュ等の順となっております。また、海外学友会も、昨年度中国大陸に発足し台湾・韓国に次いで3カ国目となりました。

第2570地区は、今年度24名の奨学生を受け入れ、それぞれのクラブでカウンセラーの皆様方を始め各クラブのロータリアンの温かな好意と友情に育まれ、日々有意義な学生生活が送れますことを大変感謝しております。

米山月間の卓話につきましては、8月18日「狭山中央R.C」を始め、明年、2月8日「東松山R.C」まで36クラブから依頼をいただき、奨学生と共に地区役員がクラブ例会に伺わせていただく予定でございます。まだ、未定のクラブにおかれましても、期日を、ご指定いただきましてガバナー事務所までお申し込みください。奨学生はもとより地区役員一同、心よりお待ち申し上げます。

会員数減少の中、甚だ恐縮ではございますが、今年度も地区目標額は3500万円とさせていただきました。米山奨学生支援のために、より、いっそうのご協力を賜りますようお願い申し上げます。

米山月間に因んで

米山奨学推進委員長 鍛冶田 宙一 (坂戸 RC)



米山月間です。米山奨学事業は、奨学生が平和を求める日本と出合い、信用関係を築く事を目的に始められて日本ロータリーに最もふさわしい国際奉仕事業として高く評価されて、全国に拡大しておりますと共に、米山梅吉爺の遺徳を偲んで作られた奨学会も今年で、財団設立42年を迎えました。

米山奨学金は、ロータリー財団の奨学金や政府奨学金のように、学費や、生活費の全てを保証するものではなく、私費留学生の一部を補助する趣旨のものであって、留学生の多くは、国もとからの送金にも限度があり、米山奨学金が彼らの大きな支えになっているものの、物価高で、生活のしにくい、

日本での留学には依然として大きな苦勞を伴いながら、尚相当な時間をアルバイトに割かねばならないのが実情であります。

米山奨学生の使命は、金銭的な援助だけでなく、留学生のほとんどは、言語も風俗も習慣も違う異国で生活苦と闘いながら、我々の想像以上に、孤独な思いをして、勉学を続けており、多くの留学生が日本人の中に心の友を求め、日本人の生活や家庭をもっと知りたがっているのが実情であります。

ロータリーの友愛に支えられて、世話クラブのロータリアンがカウンセラーとなり個人的な接触によって、彼らに常に対話と親睦の機会を与え、ロータリー活動に密着する事が出来る点であります。

「人をつくり、世界に尽くす米山奨学生」と云う言葉がございましたが、今年度も過去の実績に

より、男女併せ24名の奨学生が採用されました。

ロータリーが求める平和の精神を胸に刻んで巣立った、米山奨学生が学友会から、各国のロータリアンになられた方が、100名に達しました。（台湾ロータリークラブ入会者が53人と最も多く、次いで日本18人、韓国18人、ネパール3人、バングラディシュ3人、インド2人、マレーシア2人、スリランカ1人）

本年度も、昨年に引き続き地区の目標額が、3,500万円でございます。

皆様方のご理解あるご協力により達成できますようお願い申し上げます。



米山月間に因んで

米山奨学学友委員長 井上 豊（秩父 RC）



皆様には日頃より米山事業に対して深いご理解を頂き誠に有難うございます。

さて、10月は、「米山理解月間」です。毎年各クラブへ米山記念奨学生が訪問し卓話をさせていただいています。今年は24名の奨学生が米山地区委員と共にフル回転で回りたいと思います。ご存じのとおり、ロータリー米山記念奨学会は、全国のロータリアンから寄せられるお金を財源にした、留学生

を支援する民間最大の奨学財団で、すでに50年以上の歴史を持った世界にも類を見ない日本独自の多地区合同の奉仕活動でもあります。

ロータリー米山記念奨学生は、一年間の奨学期間が終えると、米山学友となって、日本と自国及び、世界とを結ぶ「平和の懸け橋」として、ロータリー運動のよき理解者となって各地で活躍しています。

米山奨学部門での目標は、例年に増してロータリアンと米山奨学生（学友）との交流を深めようと、8月14日「秩父音頭祭り」に総数42名（学友を含）の大勢で参加しました。初めての浴衣を着、初めての踊りを大勢の観衆の前で披露し沿道の人からは激励の大拍手を頂きました。

米山部門の理解度のアップには、米山奨学生との交流こそが必然だと思えます。10月の米山月間では地区内54全クラブに米山奨学生を派遣できればと思っています。

親元、自国から離れ勉学に努めている米山奨学生の話聞いていただき、米山記念奨学会への温かいご理解とご協力を心からお願いいたします。



2009 - 10 年度

ガバナー公式訪問 報告

今を大事に

日高ロータリークラブ

会長 高木 泰文／幹事 奥田 俊介

8月4日（火）、午前11時加藤玄静ガバナー、佐藤信男ガバナー補佐が例会場であります日高商工会館へ公式訪問され、3年未満の会員と懇談に入りました。3年未満の会員5人に対し、いろいろなアドバイスを頂き、それぞれの会員も意欲が感じられました。

その後例会では、加藤ガバナーの卓話をいただき、続いてクラブ協議会に移りました。

クラブ管理・運営委員会、クラブ広報委員会、会員増強・退会防止委員会、クラブ奉仕プロジェクト委員会、ロータリー財団委員会、米山奨学委員会へと発表及び質問等がありました。途中佐藤補佐より丁寧な講評及び答弁を頂き、最後に加藤ガバナーよ

り総評をいただきました。その中で、「この一年間クラブ支援に力を注いで行きたい。」と云う言葉に感動を覚えました。15時30分に終了となり、有意義な1日を終わることが出来、ガバナー及び補佐に感謝申し上げます。



熊谷東ロータリークラブ

会長 井桁 憲治／幹事 吉田 繁

午前10時30分過ぎ加藤ガバナーがお見えになりました。慌ただしくお迎えの準備を整えているところでありました。歓迎の演出を当クラブ大野百樹画伯の絵画教室が担当し展示された力作がお出迎えいたしました。

又、野中弘之元ガバナーはじめ理事・役員が歓迎のご挨拶を申し上げましたあと、11時より新入会員に加藤ガバナーから熱のこもったご指導をいただきました。辞めていったロータリアンの本音を伺い、ただただ頷くことしきりでありました。

ロータリーのことを知る前に、ロータリーを実践し自らの研鑽に繋がる前に3年位で辞めてしまったら何の為に高い会費を払ったのか、本当に勿体ないことである、と。又、入会数年以内の会員から本音で聞きたいことをガバナーに質問し、丁寧に答えて頂き時間をオーバーするほど充実した内容でありました。間違いなく将来このクラブの指導者として成長されると確信をいたしました。

クラブ協議会では、2つの新組織になったクラブ・サービス部門のクラブ運営の各委員会そしてプロジェクト・サービス部門の各奉仕実行委員会の委員長から本年度方針の趣旨説明が発表され細井ガバ

ナー補佐から方針への支援を力強くお約束いただきました。

加藤ガバナーからは全委員会へ具体的に丁寧に指導のコメントを頂きました。当会長へのご指摘は、危機管理の徹底と新入会員へのフォロー担当を早急に指名すること、会報は事務局任せにせず、ロータリアン自らが作成すること、等々ご指導いただきました。

4時45分まで、ガバナーの熱意に飲み込まれたように時間の経つのも忘れて聞き入ってしまいました。

数日後、理事役員で公式訪問の反省会を食事会を兼ねて開きました。こんなに素晴らしい公式訪問はないと諸先輩からも褒めていただき、心に火をおこして下さいましたことを改めて御礼を申し上げます。

1年を悔いのないよう邁進して行く所存であります。



川越中央ロータリークラブ

会長 中野 俊明／幹事 内田 卓之

今年度第2570地区加藤玄静ガバナーが8月10日（月）川越中央ロータリークラブに公式訪問されました。

4時より入会3年未満の3名の会員とガバナー懇談会が行われました。ひき続いて場所を例会場に移して第954回例会が開催され、加藤ガバナーより卓話をいただきました。

6時30分からはクラブ協議会が始まり甲斐クラブ奉仕管理運営委員長、鎌田クラブ広報委員長、飯島

会員増強、維持強化委員長、小沢奉仕プロジェクト委員長、立川ロータリー財団委員長、長堀米山奨学会委員長の順に今年度の各委員会の事業計画の説明と報告がありました。また各委員会の委員の会員にも発表の場を設けてクラブの活動をより深く考えるきっかけにしたいと時間の許す限り多くの会員の発言を求めました。発表後、西澤ガバナー補佐、加藤ガバナーの講評を頂きクラブ協議会を終了いたしました。誠に充実したガバナー公式訪問になりました。

朝霞ロータリークラブ

会長 野澤 巳津男／幹事 荒木 和之

8月18日、加藤玄静ガバナーをお迎えし『ガバナー公式訪問』が行われました。

当日、加藤ガバナー・西川ガバナー補佐・澁澤地区副幹事同席のもと入会3年未満の会員3名と会長・幹事の8名で懇談会が行われました。AM11:00～12:00までの一時間、加藤ガバナーより、地区だけに拘らず、ロータリークラブが現在抱えている問題に対し、ガバナーのお考え、方針を拝聴いたしました。

これからのロータリークラブのあり方を考える時、会員が真に楽しむことのできる例会運営の大切さ、会員相互のコミュニケーション、会員自身が言葉だけでなく実践する事の大切さを力説されました。

例会ではガバナーの卓話を頂きました。ロータリークラブの危機を強く訴えられ、クラブ活性化の為に、地区として全面的に支援できる体制を整え、力強いお言葉を頂戴しました。

地域社会に対して、ロータリークラブが何ができるのか、どの様な活動をしているのか、積極的にPRする事の重要性を話されました。

飯能ロータリークラブ

会長 木川 一男／幹事 山川 荘太郎

8月19日、当クラブでは、加藤玄静ガバナーの公式訪問を受けました。60有余名の会員が出席するなか、ロータリーの要はクラブでありクラブの要は会員であることなど、有意義なお言葉の数々を賜り、会場は、明るく活気溢れる雰囲気にも包まれながらも厳かで品格ある例会となりました。

例会後に開催されたクラブ協議会では、ガバナーに同行された佐藤信男ガバナー補佐からも丁寧かつ機智に富むご講評をいただき会員は皆、最後まで耳目を集中させました。

また、例会に先立ち、入会3年未満の会員との懇話会も催され、ロータリーのことをよく学ばない内



2009. 8. 10

本年度地区としては、フォーラム、ロータリーの友を通し、職業奉仕を積極的に取り上げていかれるとのことでした。会員減少の問題にも触れられ、会員増強の為に例会のあり方を見直し、面白く為になる例会の運営を要望されました。

例会後第3回クラブ協議会が行われ、各委員会の今年度の事業計画が発表されました。西川ガバナー補佐より各委員会への講評、加藤ガバナーより総評を戴き、当クラブの各委員会の活動に対し高い評価を頂くことが出来ました。

クラブ協議会終了後は、ガバナーを囲んでケーキとコーヒーでの懇親会へと移りました。ガバナーと会員との忌憚のない意見交換などもあり、最後は会員が作ったアーチをくぐって退場されました。

終了16:30、大変充実した1日でした。



2009. 8. 18

に辞めていくようではもったいないなど、私達が陥りやすい過ちにも触れて頂き、新人会員たちが確実な未来を手にするための貴重な一日となりました。

猛暑の中お出掛けいただき厚くお礼申し上げます。



2009. 8. 19

入間南ロータリークラブ

会長 荻野 静次／幹事 石川 伸一

8月25日（火）は当クラブの夜間例会日で午後5時から会長・エレクト・幹事と入会3年未満の会員と加藤ガバナー・佐藤ガバナー補佐との面談をさせていただき、加藤ガバナーは身近な知り合いの話など和やかな雰囲気の中から主にロータリーの基盤となるお話を丁寧にいただきました。

例会では加藤ガバナーから卓話をいただき、休憩をはさみクラブ協議会では当クラブ会長をはじめ会員からの発表を熱心に耳を傾け、四大部門毎に佐藤ガバナー補佐から講評をしていただき、最後に加藤ガバナーより総評をいただきました。

共にお誉めの言葉の他に適切な指摘を加え午後

9：30分までの充実した協議会となりました。

特に加藤ガバナーは語り尽くせない熱いメッセージを残していかれました。大変有難うございました。随行いただきました八木地区大会副実行委員長を含め、お三方の益々のご活躍をお祈りしております。



2009. 8. 25

鶴ヶ島ロータリークラブ

会長 清水 良一／幹事 安井 せつ子

8月26日加藤玄静ガバナー・西澤ガバナー補佐・浅田研修委員長・江積地区副幹事の4名をお迎えしてガバナー公式訪問が行われました。

まず、3年未満の会員との懇談会で、ガバナーよりロータリークラブに入会の動機等聞かれた。その後、ガバナーより、ロータリーは例会が基本である。そして、実践することが大切。ロータリーに入会したら変わって欲しい。ロータリーの退会は入会后4～5年の人が多い。など、3年未満だけでなく、会員全員で聞いて欲しい内容であった。

例会では、本日2名の新入会者の入会式が執り行われ、加藤ガバナーよりロータリー綱領と四つのテ

スト、が手渡された。ガバナーの卓話の中で鶴ヶ島クラブが中心になり、日光街道杉並木の植樹は近隣のロータリークラブにも呼びかけ、他団体をも巻き込み行われたこと。そのことが認められ、新聞紙上でも各紙で大きく取り上げられたことを高く評価しておりました。また、河川の浄化もして欲しい。最後に一人が一本木を植えて欲しい。と結びました。



2009. 8. 26

和光ロータリークラブ

会長 並木 孝喜／幹事 池田 慎介

8月28日（金）朝10時30分予定時刻に加藤ガバナー・西川ガバナー補佐・坂本地区副幹事がご到着、会長、幹事が出迎えて和光市駅南口に寄贈した青少年健全育成啓発看板と記念植樹の銀杏の木をご案内し、啓発看板の前で記念撮影を行いました。

11時より加藤ガバナー、西川ガバナー補佐とともに、会長・会長エレクト・幹事・入会3年未満の会員1名と懇談を行い、新入会員にロータリアンとしての心構えを大変解り易くご指導頂き、さらに、新入会員に対し援助会員のフォローが早期退会を防ぐ上でいかに重要かをお話し頂きました。

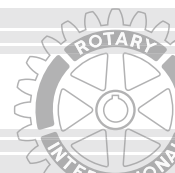
昼食後、例会に於いて加藤ガバナーの卓話は、21世紀に生き残る為のクラブ支援、職業奉仕の充実、1年間の例会においてロータリーの知識を積み重ね

て行く事の大切さなどを述べられました。そして、クラブ協議会の総評も30分を超えるご指導を頂き、その中で、パストガバナーが受付を行い、地区部門委員長が例会記録写真を写すなどホームクラブでは、一員として働く姿を見て少人数でも大変まとまりのあるクラブだと感心されていました。終了後、ガバナー、ガバナー補佐を交えた、ささやかな懇親会にも13名の会員が参加し、充実した有意義な1日となりました。



2009. 8. 28

社会奉仕プロジェクト部門セミナー



社会奉仕プロジェクト部門 委員長 金子 圭典（鶴ヶ島RC）



社会奉仕プロジェクト部門セミナーが平成21年8月22日午後1時から4時に国立女性教育会館で実施した。

登録者は122名で当日欠席者は2名の盛況であった。

木藤文雄委員長の司会により加藤玄静ガバナーが、部門における目的と事業の推進についての挨拶と指導が有り更に石川嘉彦地区研修リーダーの挨拶終了後、直に議事に移り、本年度の社会奉仕プロジェクト部門の活動内容について金子圭典部門委員長より提案が有り、社会奉仕プロジェクト部門は実践活動が事業の総てで、4つの委員長から必ず実行するとの約束のもと決意が強調された。

ロータリークラブの最大の力点は個々の会員が実績と経験を蓄積され優れた人材が豊富で、総ての事業の運営にあたっては難問でも解決出来る人達がメンバーとして存在している事に驚

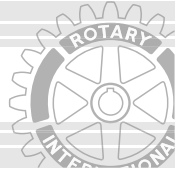
嘆した。

各正副委員長はもとより地区委員の方々の自主的な考え方でそれぞれの立場で事業の推進をはかるよう金子部門長より促した。

- (1)花家孝之委員長より健康福祉委員会の活動について、特にアイバンクの協力と会員のインフルエンザの対応方等の話題が提供された。
- (2)山崎嘉正委員長より高校生社会体験活動委員会は既に4月より県教育局との連携を深め順次邁進している旨の報告が有り、受け入れ準備完了との事。
- (3)鈴木秀憲委員長が世界遺産さきたま古墳群と秩父まつり等の報告が有り、地域の活性化に役立っている。サポーターについて更に一層の推進をはかるとの報告。
- (4)田中八東副委員長より環境緑化委員会で日光街道の植樹5月30日実施について説明を受け、更に井花広報委員長のプレスの対応方について伺い、結びに浅田進地区研修委員長の総評で時間内に閉会となった。



第43回インターアクトクラブ年次大会報告



アクト委員長 森田 光一（東松山むさしRC）

第43回インターアクト年次大会 テーマ「IACから広がる奉仕と交流」は8月2日（日）、入間南ロータリークラブと狭山ヶ丘高等学校インターアクトクラブが主管を務め、狭山ヶ丘高等学校で開催されました。

当日はインターアクトクラブ会員73名及び顧問教師14名、RC関係者70名の多くの皆さまの参加をいただきました。

10時より開会行事が行われ、加藤玄静ガバナー、野口健吉新世代部門委員長、石川孝雄顧問教師会会長より来賓としてご挨拶をいただきました。続いて、荻野静次入間南ロータリークラブ会長の歓迎のご挨拶、そして、ホスト校の狭山ヶ丘高等学校小川義男校長並びに、狭山ヶ丘インターアクトクラブ会長の関口雄介君からご挨拶がありました。

続いて、基調講演は石川嘉彦パストガバナーより「お父さんからインターアクトへのメッセージ」と題して、「ガバナーとは」、「愛される時と愛する時」、「インターアクトクラブとロータリー」、「ロータリークラブの理念」などについて貴重なお話をいただきました。

基調講演終了後、狭山ヶ丘高等学校合唱部、昼食をはさんで落語研究会によるアトラクションが元気に楽しくおこなわれました。

13時30分より生徒は6つの分科会に分かれ、基調講演の内容を受け、特に「奉仕と交流」について活発な意見交換をおこないました。また、同時刻に顧問教師会と新世代部門委員長、アクト委員長との意見交換会が開催されました。顧



問教師の皆さんからは、各学校の現況と課題についての報告がおこなわれました。共通した課題は会員の減少であり、提唱クラブとインターアクトクラブの一層の交流、そして提唱クラブの支援の大切さを実感しました。

全体会の前に、狭山ヶ丘高等学校インターアクトクラブの手話コーラスなどのアトラクションの後、分科会での意見交換内容について各グループの代表者による発表がおこなわれました。最後に、鈴木勲二パストガバナーより講評をいただき閉会しました。

本年度の年次大会開催にあたり、多大なご協力いただいた入間南ロータリークラブ並びに狭山ヶ丘高等学校、埼玉県北西インターアクトクラブ顧問教師会の皆さまに心より感謝申し上げます。



表彰

米山功労者
(4回目)



市川 悦廣
(川越中央 RC)

米山功労者
(4回目)



甲斐 正満
(川越中央 RC)

米山功労者
(1回目)



小林 甲一
(川越中央 RC)

米山功労者
(3回目)



間中 康夫
(川越中央 RC)

米山功労者
(2回目)



山田 英雄
(川越中央 RC)

米山功労者
(3回目)



大河原 茂夫
(日高 RC)

米山功労者
(2回目)



根本 光規
(富士見 RC)

米山功労者
(2回目)



吉田 覚
(富士見 RC)

米山功労者
(1回目)



大渕 順澄
(富士見 RC)

米山功労者
(2回目)



高野 勝利
(狭山 RC)

米山功労者
(4回目)



木川 一男
(飯能 RC)

米山功労者
(15回目)



戸谷 全克
(本庄南 RC)

マルチプル・ポール・
ハリス・フェロー



野中 弘之
(熊谷東 RC)

マルチプル・ポール・
ハリス・フェロー



佐藤 信男
(狭山 RC)

マルチプル・ポール・
ハリス・フェロー



岩崎 徳雄
(狭山 RC)

マルチプル・ポール・
ハリス・フェロー



岡本 久之
(狭山 RC)

マルチプル・ポール・
ハリス・フェロー



市川 悦廣
(川越中央 RC)

マルチプル・ポール・
ハリス・フェロー



鎌田 政稔
(川越中央 RC)

マルチプル・ポール・
ハリス・フェロー



小沢 経広
(川越中央 RC)

ポール・
ハリス・フェロー



弓田 乃里子
(越生毛呂 RC 会員夫人)

ベネファクター



棚澤 正行
(熊谷南 RC)

ポール・
ハリス・フェロー



秋元 伸一郎
(富士見 RC)

マルチプル・ポール・
ハリス・フェロー



今泉 博
(川越 RC)

マルチプル・ポール・
ハリス・フェロー



池袋 賢一
(川越 RC)

新入会員のご紹介



日 野 廣 生

ク ラ ブ 名 : 川越RC
入会年月日 : 2009年 7 月 7 日
勤 務 先 : 川越ケーブルテレビジョン㈱
職 業 分 類 : 電気及び電子事業
生 年 月 日 : 1951年12月10日



稲 見 淳

ク ラ ブ 名 : 狭山中央RC
入会年月日 : 2009年 7 月 7 日
勤 務 先 : 平和フィールド㈱
職 業 分 類 : 測量
生 年 月 日 : 1951年 8 月16日



益 子 伸 明

ク ラ ブ 名 : 狭山中央RC
入会年月日 : 2009年 7 月 7 日
勤 務 先 : 大同技研㈱
職 業 分 類 : 電気設備制御盤
生 年 月 日 : 1961年 2 月17日



大 崎 光 二

ク ラ ブ 名 : 飯能RC
入会年月日 : 2009年 8 月19日
勤 務 先 : 飯能開発㈱
職 業 分 類 : ゴルフ場
生 年 月 日 : 1954年11月14日



田 野 隆 広

ク ラ ブ 名：熊谷RC
 入会年月日：2009年 8 月21日
 勤 務 先：タカヒロフーズ(株)
 職 業 分 類：製麺
 生 年 月 日：1967年 9 月 9 日



谷 田 雅 彦

ク ラ ブ 名：熊谷RC
 入会年月日：2009年 8 月21日
 勤 務 先：(株)谷田楽器店
 職 業 分 類：楽器販売
 生 年 月 日：1961年 9 月14日



柴 栄 一

ク ラ ブ 名：所沢中央RC
 入会年月日：2009年 8 月24日
 勤 務 先：(株)ライフコーディネート
 職 業 分 類：不動産業
 生 年 月 日：1954年 6 月30日



佐々木 剛

ク ラ ブ 名：上里RC
 入会年月日：2009年 7 月15日
 勤 務 先：ミニショップ プラジール
 職 業 分 類：スーパーマーケット
 生 年 月 日：1969年 7 月11日



池 田 敏 和

ク ラ ブ 名：熊谷籠原RC
 入会年月日：2009年 8 月 5 日
 勤 務 先：特別養護老人ホーム 永寿苑
 職 業 分 類：病院及び施設
 生 年 月 日：1960年 3 月11日



堀 江 等

ク ラ ブ 名：川越RC
 入会年月日：2009年 8 月 4 日
 勤 務 先：野村證券(株) 川越支店
 職 業 分 類：証券業
 生 年 月 日：1965年10月24日



小 林 利 行

ク ラ ブ 名：川越RC
 入会年月日：2009年 9 月 1 日
 勤 務 先：AIG・スター生命保険(株) 関越総支社
 職 業 分 類：保険業
 生 年 月 日：1950年10月 3 日

訃 報

謹んで哀悼の意を表し、心からご冥福をお祈り申し上げます。



権田 太喜男様 (熊谷籠原RC 名誉会員)

2009年 8 月28日ご逝去されました。
 享年85歳

ロータリー歴
 1989年 5 月入会 (在籍21年)



今月の表紙

塙 保己一旧宅

本庄市児玉ゆかりの盲目の国学者、塙保己一の生家は入母屋造りの茅葺き二階建てで保己一は幼少期ここで過ごした由。後若干の増築、補修を行っているが当時の面影を色濃く残す国指定の文化財である。所在地本庄市児玉町保木野 325 番地

10月のスケジュール		
1	木	
2	金	公式訪問－富士見RC
3	土	
4	日	
5	月	公式訪問－所沢中央RC（夜間）
6	火	
7	水	公式訪問－上里RC（夜間）
8	木	
9	金	公式訪問－志木柳瀬川RC（夜間）
10	土	
11	日	
12	月	体育の日 秩父RC 45周年
13	火	公式訪問－吹上RC
14	水	
15	木	公式訪問－行田RC
16	金	公式訪問－深谷東RC
17	土	ブライダル相談会（北坂戸オルモ）
18	日	
19	月	公式訪問－本庄南RC（夜間）
20	火	公式訪問－行田さくらRC
21	水	公式訪問－熊谷籠原RC／熊谷南RC（夜間）
22	木	公式訪問－所沢東RC
23	金	
24	土	
25	日	
26	月	公式訪問－新狭山RC（夜間）
27	火	公式訪問－狭山中央RC
28	水	
29	木	
30	金	
31	土	

11月のスケジュール		
1	日	
2	月	
3	火	文化の日
4	水	
5	木	
6	金	公式訪問－所沢西RC／和光RC 30周年
7	土	
8	日	
9	月	公式訪問－熊谷西RC
10	火	公式訪問－児玉RC
11	水	公式訪問－新座こぶしRC
12	木	公式訪問－東松山、小川、東松山むさしRC合同
13	金	
14	土	
15	日	
16	月	
17	火	
18	水	
19	木	第38回ゾーン研究会・ガバナーエレクト研修会
20	金	〃
21	土	〃／ブライダル相談会（北坂戸オルモ）
22	日	〃
23	月	勤労感謝の日 第5G IM
24	火	公式訪問－秩父RC
25	水	
26	木	公式訪問－本庄RC（夜間）／入間RC 50周年
27	金	
28	土	
29	日	第2G IM
30	月	

文 庫 通 信 (264号)

「ロータリー文庫」は日本ロータリー50周年記念事業の一つとして1970年に創立された皆様の資料室です。

ロータリー関係の貴重な文献や視聴覚資料など、2万余点を収集・整備し皆様のご利用に備えております。閲覧は勿論、電話や書信によるご相談、文献・資料の出版先のご紹介、絶版資料についてはコピーサービスも承ります。また、一部資料はホームページでPDFもご利用いただけます。

クラブ事務所にはロータリー文庫の「資料目録」を備えてありますので、ご活用願います。以下資料のご紹介を致します。

ロータリー情報－地区大会の講演から

- ◎「永遠の課題・職業倫理」 深川純一 2009 12p (D.2670)
- ◎「永遠の課題・職業倫理」 深川純一 2009 15p (D.2710)
- ◎「職業奉仕の原理と実践」 深川純一 2009 14p (D.2720)
- ◎「ロータリーの原点・基本に返ろう」 廣畑富雄 2009 2p (D.2530)
- ◎「『決議23－34』への熱き思い－終章」 渡辺好政 2009 9p (D.2580)
- ◎「RIの難問の一つは会員増強と会員維持」 渡辺好政 2009 6p (D.2580)
- ◎「『ロータリーとは?』－ロータリアンであることの意義」 成川守彦 2009 15p (D.2760)

[上記申込先：ロータリー文庫（コピー／PDF）]

【ロータリー文庫】

〒105-0011 東京都港区芝公園2-6-15 黒龍芝公園ビル3階
 TEL：03-3433-6456 FAX：03-3459-7506 <http://www.rotary-bunko.gr.jp>
 ■開館 午前10時～午後5時 ■休館 土・日・祝祭日



ROTARY INTERNATIONAL DISTRICT 2570

8月度 出席及び会員数報告

第1グループ (11RC)

クラブ名	例会数	出席率 (%)		会員数 (人)								
		当月	通算	年初 (7/1)	8月 末	8月 入会数	8月 退会者	本年度 入会数	本年度 退会者	8月度 純増数	本年度 純増数	女性 会員
川 越	3	77.91	83.00	87	89	1	0	3	1	1	2	0
東 松 山	4	78.98	80.84	37	37	0	0	0	0	0	0	1
小 川	3	83.33	84.67	11	11	0	0	0	0	0	0	1
坂 戸	3	79.94	84.34	25	25	0	0	0	0	0	0	0
越生毛呂	3	75.30	77.00	28	27	0	1	0	1	-1	-1	1
川越小江戸	3	100.00	97.12	22	22	0	0	0	0	0	0	0
川 越 西	3	81.88	86.94	20	21	0	0	1	0	0	1	1
鶴ヶ島	5	88.00	88.00	29	29	0	0	0	0	0	0	2
川越中央	4	70.60	71.42	35	35	0	0	0	0	0	0	0
坂戸さつき	3	83.33	89.37	21	22	0	0	1	0	0	1	5
東松山むさし	3	78.80	81.34	32	33	0	0	1	0	0	1	2
合 計		81.64	84.00	347	351	1	1	6	2	0	4	13

第4グループ (12RC)

クラブ名		例会数	出席率 (%)		会員数 (人)							
			当月	通算	年初 (7/1)	8月 末	8月 入会数	8月 退会者	本年度 入会数	本年度 退会者	8月度 純増数	本年度 純増数
深 谷	4	88.40	88.34	64	65	0	0	1	0	0	1	8
本 庄	3	94.33	93.67	65	68	0	0	3	0	0	3	6
秩 父	4	77.70	81.50	52	53	1	0	1	0	1	1	0
寄 居	4	87.16	82.77	37	37	0	0	0	0	0	0	1
児 玉	3	59.64	62.70	19	19	0	0	0	0	0	0	0
岡 部	3	73.50	76.20	22	22	0	0	0	0	0	0	2
深 谷 東	3	70.08	70.05	65	65	0	0	0	0	0	0	0
上 里	2	100.00	97.90	7	8	0	0	1	0	0	1	0
川 本	3	94.00	93.50	17	17	0	0	0	0	0	0	0
皆野・長瀬	3	90.20	90.70	17	17	0	0	0	0	0	0	3
本 庄 南	4	72.96	71.14	21	24	2	0	3	0	2	3	0
深谷ノース	4	70.22	73.27	37	38	0	0	1	0	0	1	0
合 計		81.52	81.81	423	433	3	0	10	0	3	10	20

第2グループ (9RC)

クラブ名	例会数	出席率 (%)		会員数 (人)								
		当月	通算	年初 (7/1)	8月 末	8月 入会数	8月 退会者	本年度 入会数	本年度 退会者	8月度 純増数	本年度 純増数	女性 会員
朝 霞	3	100.00	100.00	35	34	0	0	0	1	0	-1	0
上 福 岡	3	87.36	84.88	17	17	0	0	0	0	0	0	0
志 木	3	89.46	92.23	48	48	0	0	0	0	0	0	0
富 士 見	3	81.37	84.84	46	46	0	0	0	0	0	0	0
新 座	4	91.36	90.60	33	32	0	1	0	1	-1	-1	3
和 光	3	91.23	90.88	21	21	0	0	0	0	0	0	0
朝霞キャロット	3	86.11	88.77	12	12	0	0	0	0	0	0	0
志木柳瀬川	3	91.70	92.55	14	14	0	0	0	0	0	0	6
新座こぶし	3	95.83	96.04	16	16	0	0	0	0	0	0	3
合 計		90.49	91.20	242	240	0	1	0	2	-1	-2	12

第5グループ (10RC)

クラブ名		例会数	出席率 (%)		会員数 (人)							
			当月	通算	年初 (7/1)	8月 末	8月 入会数	8月 退会者	本年度 入会数	本年度 退会者	8月度 純増数	本年度 純増数
熊 谷	3	87.01	86.59	89	92	3	0	3	0	3	3	3
行 田	3	66.70	70.93	55	55	0	0	0	0	0	0	1
羽 生	4	75.70	79.85	36	35	0	0	0	1	0	-1	2
加 須	3	96.40	92.15	39	39	0	0	0	0	0	0	1
熊 谷 西	4	70.44	70.14	26	26	0	0	0	0	0	0	1
行田さくら	3	79.20	79.20	39	40	0	0	1	0	0	1	0
熊 谷 東	4	96.88	94.82	31	32	0	0	1	0	0	1	2
吹 上	4	81.25	90.63	15	16	1	0	1	0	1	1	0
熊谷龍原	3	92.20	94.14	27	28	1	0	1	0	1	1	0
熊 谷 南	3	63.00	63.00	26	27	0	0	1	0	0	1	2
合 計		80.88	82.15	383	390	5	0	8	1	5	7	12

第3グループ (12RC)

クラブ名	例会数	出席率 (%)		会員数 (人)								
		当月	通算	年初 (7/1)	8月 末	8月 入会数	8月 退会者	本年度 入会数	本年度 退会者	8月度 純増数	本年度 純増数	女性 会員
入 間	3	87.04	86.17	43	43	0	0	0	0	0	0	1
所 沢	3	86.75	84.66	65	65	0	0	0	0	0	0	4
飯 能	3	89.04	89.64	62	63	1	0	1	0	1	1	1
狭 山	3	100.00	99.48	24	24	0	0	0	0	0	0	1
新 所 沢	3	94.05	91.67	33	33	0	0	0	0	0	0	2
日 高	4	85.00	86.25	24	24	0	0	0	0	0	0	4
所 沢 西	3	93.20	91.45	44	44	0	0	0	0	0	0	1
新 狭 山	4	91.67	93.06	25	25	0	0	0	0	0	0	0
所 沢 東	3	89.93	91.76	36	38	0	0	2	0	0	2	3
入 間 南	3	86.90	88.50	35	35	0	0	0	0	0	0	0
所沢中央	3	92.30	91.30	37	38	1	0	1	0	1	1	0
狭山中央	3	90.14	86.90	33	33	0	0	2	2	0	0	5
合 計		90.50	90.07	461	465	2	0	6	2	2	4	22

総グループの合計 (54RC)

出席率 (%)		上段・54クラブ会員数 (人) / 下段・女性会員数									
当月	通算	年初 (7/1)	8月 末	8月 入会数	8月 退会者	本年度 入会数	本年度 退会者	8月度 純増数	本年度 純増数		
84.92	85.72	1856	1879	11	2	30	7	9	23		
		79	79	0	0	0	0	0	0		

